

## 【2004年2月期決算説明会 報告骨子】

席上配布資料「フロイント産業株式会社 2004年2月期決算説明会資料」、「フロイントグループの業績概況について」とともにご覧ください。

### 1. 2004年2月期決算のポイント（資料P1）

下記項番「2」以降で説明。

### 2. 2004年2月期連結決算の概要（資料P2～P3）

為替換算レートは期中平均レートを適用、1ドル＝115円99銭にて換算。

#### （1）連結売上高：93億99百万円（前期比 3.5%増）

《内 訳》

機 械：57億31百万円（前期比 2.7%増）

化成品：36億68百万円（前期比 4.7%増）

#### （2）連結経常利益：3億35百万円（前期比 258.4%増）

売上高の伸長による売上総利益の増加（前期比1億26百万円の増益）と、グループ内で資金を効率運用し金融費用の削減（前期比17百万円のコストセーブ）を図るなど、経費圧縮に努めた。

#### （3）連結当期純利益：26百万円（前期比 62.3%増）

本社移転に関わる一時費用約1億円のほか、米国子会社VPS社が引き続き赤字決算となったことと同社が保有していた75万5千ドルの繰延税金資産の取崩しなどにより最終利益水準は低位。

### 3. 部門別売上高、および機械部門の受注状況<セグメント情報>（資料P3）

#### （1）機械部門

主要顧客である医薬品業界に加え、健康食品業界をはじめとした産業機械分野への取組強化により、売上高、受注高ともに順調に推移。

受注高、期末受注残高（売上の先行指標として重視している指標）

[フロイント産業]

受注高：48億8百万円（前期比 43.5%増）

受注残高：22億3百万円（前期比 111.0%増）

期末受注残高は、前期比倍増。

[米国子会社VECTOR社]

受注高：2,389万6千ドル（前期比 113.2%増）

受注残高：1,225万1千ドル（前期比 227.0%増）

VECTOR社創立（1972年）以来の受注高、期末受注残高を記録。

#### （2）化成品部門

医薬品添加剤

自社生産品「ノンパレル」は、大手製薬会社からの増産要請に対応中。

食品品質保持剤

開発品「アンチモールド・テンダー」を上市し、既存商品との差別化に取り組んでいる。

シームレスミニカプセル受託事業

シームレスミニカプセルの本格生産体制を整え、受託事業を拡大中。

## 治験薬製造受託事業

主に本邦製薬会社から米国での治験薬製造を受託しているV P S社は、製薬会社の慎重な開発姿勢により赤字決算が続いている。

### 4 . グループ各社決算の概要 ( P 4 )

各社の決算状況を開示。

### 5 . 2005年2月期業績見通し ( P 5 )

業績見通しに際し、通期平均為替レートは1ドル=105円を予想。

#### ( 1 ) 連結業績見通し

売上高	: 105億円	(前期比 11.7%増)
営業利益	: 5億40百万円	(前期比 64.5%増)
経常利益	: 5億60百万円	(前期比 67.0%増)
当期純利益	: 2億70百万円	(前期比 917.3%増)

#### ( 2 ) 個別業績見通し

売上高	: 80億円	(前期比 10.0%増)
営業利益	: 4億40百万円	(前期比 29.8%増)
経常利益	: 4億60百万円	(前期比 33.8%増)
当期純利益	: 2億50百万円	(前期比 73.8%増)

### 6 . グループ経営に軸足を置いて業容を拡大 ( P 6 )

#### 国際的な営業活動

- ・ 欧州 ...英国に代理店を設置し、欧州への本格進出の足場を築く。
- ・ 中国 ...本邦大手製薬会社の中国進出に併せてアプローチ。  
地元企業との取引については販売・購買両面で検討していく。
- ・ 東南アジア...海外大手製薬会社の工場集約に際し、有望視している地域であり、当グループとしても勢力拡大を図っていく考え。  
新規に代理店を設置し、インターフェックスアジアへ共同出展。

#### 治験薬製造受託事業の早期黒字転換

国内での認知度は急速に浸透中、現地での新規顧客の開拓とともに、V P S社の早期黒字転換を図る。

#### シームレスミニカプセル

受託事業を通じて製造ノウハウを修得し、カプセル生産機の改善、改良に繋げるなどシナジー効果を追求する考え。

#### 次から次へと開発品を上市

- ・ 多機能型遠心転動造粒コーティング装置「グラニュレックス」は、国内・海外で着実に販売実績を挙げている。
  - ・ 医薬品製剤の核粒子として用いられているノンパレルの更なる微小化に成功。  
米国では、医薬品の承認を得るには、その製剤原料である添加剤についても米国食品医薬品庁(FDA)へDrug Master File(DMF)登録、維持することが必要となっており、ノンパレルシリーズの2品目についてDMF登録を完了。
  - ・ 食品用コーティング剤「水性シェラック液」を上市。
  - ・ 直接打錠用澱粉「パーフィラー102」を上市。
- 『活力とスピード溢れるグループ経営で競争優位に立つ』ことを目指す。

7．連結経営指標（P 7）

目標とする経営指標は下記のとおり。

営業利益、利益率

収益力の高い会社を目指し、営業利益の絶対額（早期に達成すべき目標は10億円）確保を最優先すべき経営目標として設定、売上高営業利益率についても10%を目処として売上高と利益率のバランスのとれた成長を図っていく考え。

株主資本利益率（ROE）

経営の効率性の観点からROE 10%を目標として設定。

8．設備投資・研究開発費（P 8）

（1）連結設備投資額

2004年2月期実績：約 3億70百万円

2005年2月期計画：約 8億円～9億円

大手製薬会社から自社生産品「ノンパレル」の大幅な増産要請があり、投資規模を見極めている段階。

（2）連結研究開発費

2004年2月期実績：約 4億円

2005年2月期計画：約 4億50百万円

研究開発型企业として、コンスタントに一定水準の研究開発費を確保する考え。

9．その他、経営管理に関わるトピックス（P 9）

以上